

生まれ育った東山区と京都のために……

京都市会議員

平山たかお

TAKAO HIRAYAMA REPORT Vol. 1

レポート

創刊号

2015.12月

○ 市民と市政のパイプ役 ○



議席を頂戴し、約半年が過ぎて

4月12日投開票の京都市会議員選挙では、4,401票もの温かいご支援を賜り、初めて議席を得させて頂き、大変身の引き締まる思いであり、生まれ育った東山区と京都のために、身を粉にして働く所存でございます。

そこで、私の活動を少しでもみなさまに知って頂きたく「平山たかおレポート」なるものを創刊致しました。

どうか、ご高覧賜れば幸いでございます。

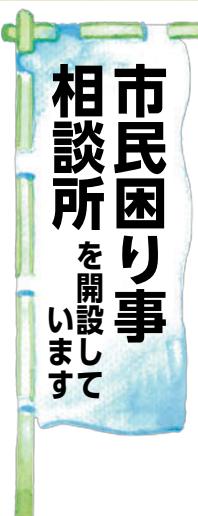
市民と市政のパイプ役として頑張って参りますので、今後とも、御指導ご鞭撻を宜しくお願ひ致します。



お困りごとなど
ご相談下さい

みなさまにとって、行政の仕事の役割分担は分かりにくいと思います。

「どこに相談に行けばいいのか?」「こんなこと聞いても良いのだろういか?」とお悩みのときは、私の事務所まで、お気軽に問い合わせ下さい!!





[自民党市会議員団20名]

平成27年5月市会について

選挙後ということで、市会の役職改選が行われ、第82代議長にわが自民党市会議員団より、津田大三氏（中京区）、第90代副議長に、大道義知氏（公明・南区）が選出されました。

私は経済総務委員に就任を致しました。



議長室にて

平成27年9月市会において

9月市議会は決算の市会でございました。

私は、前年度の予算が正しく、また、無駄なく執行されたのかという観点から、36日間にわたる会期中に様々な質問を致しました。

その会期の締めくくりに門川市長に対して総括質疑を行いました。

そこで私からは以下の3点質問を致しました。

- ①双京構想について
- ②中小企業への支援、京都経済の在り方について
- ③若年層への就職・雇用支援について

人口減少社会の現在において、本市の活力を維持するには、私は「京都市とはこういう場所です！」とアピールしていくことが重要だと認識しています。

そこで本市は文化首都としての京都市という観点で本市の魅力をアピールしようとしています。それが皇室に御所にお住まい頂こうという「双京構想」であり、文化庁等の京都市への移転であります。ちょうど、文化庁の移転に関しては、いわゆる霞が関の官僚等が京都市に移転することに関してのデメリットを国會議員に言い回っているような報道がなされていたので、實際にはどうなつかを市長に答弁を求めました。

そうすると市長からは、各種課題はあるかもしれないが、前向きに進めなくてはならないとの答弁を頂きました。私自身、大きなハードルはどのように理解し

ていますが、我々が夢を語らずしては一向に進まないと感じましたので、引き続き訴えていかなくてはと思っています。また、私は元々銀行員だったので強く感じるわけでございますが、中小零細企業の回復なくして、京都の、また日本が盛り上がることはないと想います。

人口が減少する社会において経済成長というのは古今東西、例が無い中で、ダーウィンの進化論でもありました「強いものが残るのではなく、変われるものが残るのだと」という言葉はまさにグローバル経済下において、求められる企業像であると、私は元銀行員の観点からもそのように感じています。そういう観点から柔軟性のある支援策について、事業承継、空き店舗対策を含め、議論を交わしました。また、就職活動の時期を従来より遅らせたことによる影響を各方面から伺うので、若年層への就職支援についても議論を交わしました。



経済総務委員会にて

6月22日開催された委員会での私の発言が、京都新聞に採り上げられました!!
(京都新聞より一部引用)

京都市は平成26年度に過去最高となる観光客数(5500万人超)、消費額(7600億円超)となりました。今後の本市の財政運営を鑑みた時、このような兆候は非常に望ましいため、観光客の誘致については進めるべきであると思いますが、反面、地元経済への貢献度、また地元住民のみなさまへの迷惑をお掛けしている点も多数あるかと思います。そういう点は是正されなければなりません!!

今回の委員会では、私は観光客の方々の“マナー”について、質問させて頂きました。上記新聞記事にもあるように、本市としても対応するとの答弁を引き出しました!!



ゲストハウスについて…

北米の富裕層向けの観光雑誌「トラベル&レジャー」において、京都市は2年連続訪れたい都市No1にも選ばれ、過去最高の観光客数を突破する中、過日の経済総務委員会においても外国人観光客のマナーについて質問を致しましたが、昨今「ゲストハウス※」なるものが東山区内にもたくさんできているとのことでありました。そこで、区役所に問い合わせ、平成26年度末時点での各学区内で把握をしているゲストハウス数が右記の表に示している通りです。(増加傾向にあり、現在ではもっと増えております)

私もよく皆さまからご相談を賜り、私なりに課題を整理致しました。

①言語・マナーの違いから

タバコやゴミのポイ捨てについて…

②管理人がいないケースが多いため、連絡先が不明…

元学区名	件数
栗田	22
有済	9
弥栄	6
新道	18
清水	25
六原	16
修道	7
貞教	1
一橋	6
今熊野	3
合計	113

平成26年度末現在

入洛客 2年連続最多更新

「外国人が町家の格子でたぼこの火を消したとの声も聞く。舞妓の写真を無理やり撮ろうとして着物が破れたとの話もある。」平山貴大市議(自民党)は、「外国人観光客の増加で起きているトラブルを訴えた。市観光MIC推進室の高畠重勝室長は「市にも苦情は寄せられない」と述べ、「外国人向けに日本でのマナーを記したリーフレットを配るなどの対策を示した。」

外国人マナー「対策を」

(中国語版)



(英語版)



マナーを記したリーフレット
(提案が実現!!)

観光客増、困惑も増

京都市を訪れた観光客数が2年連続で過去最多を更新するなか、22日の市議会経済総務委員会で、観光客の増加が市民生活に与える影響を懸念する声や地域経済への効果を疑問視する意見が相次いだ。市は観光客のマナー向上に取り組む姿勢や経済効果の分析を進める考え方を示し、理解を求めた。

(京都新聞より一部抜粋)



③町内会等にも参加もしていないので、火災等の防災時にどのように対応できるのか…

④オーナーと近隣住民とのコミュニケーションが図られていないことが多い…

他にも挙げていればきりがないですが、共通する課題は上記に示した通りです。

9月議会においては、門川市長は現行法で対応するとの答弁をされていましたが…

外国人観光客数が増加しており、宿泊施設が不足している側面はありますが、何よりも市民の皆さまの不安を払拭しなければ、真のおもてなしはできないですし、また、しっかりとマナーを守られているオーナーの方々も一部マナーを守っていないオーナーと同様の扱いをされたら不平等であります。今後、しっかりと議論を深め、私はゲストハウスのことに関しては条例提案をしなくてはならないと考えています。

どうか、私に、皆さまのお声をドンドンお寄せ下さい!!宜しくお願ひ致します!!



※「ゲストハウス」外国人観光客向けの簡易宿泊所



平山たかお

が

考える

投票率について

今回、過去最低となった京都市会議員選挙。

投票率は約41%、またわが東山区に限ってみれば約39%。

一方で、いわゆる“大阪都構想”に対する住民投票の投票率は約67%。

投票率というものは、市民のみなさまお一人お一人の意識が十二分に大切であると痛感をした4月の選挙、そして、5月の住民投票でありました。

2016年夏の参議院議員選挙からは18歳から選挙権が付与されるわけでございます。

(京都新聞より一部引用)

各党 支持獲得探る

民主労連も若者の利用
いう。
投票率も若者の利用
う。

高校前で街頭演説も

「18歳が有権者にな
基準してきただ年を公選法
18歳が有権者にな

01年に方より42歳
選挙では、05年の京都大改
化で

来夏参院選 有権者4万8000人増

アピールしていくと
投票率もあ
う。

新組織設置やネット活用 勝敗左右の可能性も

6票差、12年の京都3区では216
票差、6票差が決まり。新たに加わ
る有権者の投票行動が大きく影響す
ることがある。
府内の現職国會議員は「18~19歳
向けに活動した選挙活動は考えて
ないが、意識的投票率を出している。
たた、若い世代の有権者について
て数字を示すのが難しい」と話す。
は投票率の抽選調査など、年代が
近いもので24歳の投票率は、13年が
90%と最も高かった。府選管会
理委員会は本年度から、高校生向け
に機関紙を毎月配布するなど、年齢を
拡充し、投票率アップを図りたいと
している。(白山正紀)

18歳選挙権成立

維新の党幹部は、選
挙率動いて引き下げを路
えで新潟市長を5日に
立ち上げ、若手京都市議を
局長に任命した。同党幹部支
部の田嶋泰代表は「これ
まで大半の人が政治に関わ
る機会は少なかった」と語る
が主だった。今後は広く参
加してもらいたい」と述べた。
青年局企画部地方議員と
学生たちの意見交換も増
やしていくつもり」と話す。
公明党幹事部は、青年局
と女性局を中心に、選挙権
をめぐる取り組みをするプロジ
エクトチームを7月にも設
置することを決めている。
スマートフォン世代の若者
にアピールしていくと、党闘
争のニュースや選挙情報、
政策解説などをまとめて見
られる県式アプリ「公明
アピール」を活用していくと
投票率も高まると見て見
ている。

高校前で街頭演説も
行われる。選挙権をめぐる
情報や選挙情報、政策解説などを
まとめて見られる県式アプリ「公明
アピール」を活用していくと
投票率も高まると見て見
ている。

「18歳が有権者にな
基準してきただ年を公選法
18歳が有権者にな

01年に方より42歳
選挙では、05年の京都大改
化で

私自身、インターネットやSNSなども有効な方法の一
つだと思いますが、投票にまでつなげるためには、地道
な対話が大切であると思います!!

特に若い世代のみなさまほど投票率も低いです。自ら
の将来のためにも、平山たかおは若い世代の皆さまのお
声も必ず京都市政へ届けます!!

自民党
京都市会議員 平山たかお トピックス
18歳から選挙権!!
(2016年夏の参院選より)
若い世代の皆さまのお声も必ず届けて参ります。

区内に貼り、若い皆さんにもアピールしています!!

現在、京都市政に対して様々なご意見をお持ち
だと思います。

私は地元のみなさまの“お声”というものが市政
運営上、最も大切であると考えています。

私のモットーは徹底した『現地現場主義』です。
市内をフットワーク軽く回っておりますので、
お気軽にご意見をお聞かせ下さい!!



各種ご連絡先

平山たかお事務所

TEL 075-746-4715
FAX 075-746-4739

(京都新聞より一部抜粋)